

2019 年度 JAMS 会員総会議事録

事務局

2019 年 12 月 21 日（土）、立教大学池袋キャンパスにおいて 2019 年度日本マレーシア学会（JAMS）の会員総会が行われた。

議長選出

西芳実会員が議長に選出された。

報告事項

担当の各委員から活動内容に関する報告が行われた。

1. 運営委員長

篠崎香織運営委員長より、次期（2020-21 年度）理事を選出するにあたり、理事選出規程第 1 条に基づき、2019 年 8 月 7 日に運営委員会より鈴木陽一会員と篠崎香織会員が選挙管理委員に任命されたこと、また選挙管理委員の互選により、鈴木陽一会員が選挙管理委員長に選出されたことが報告された。

2. 事務局

総務

山本博之委員より、JAMS が参加している学会等の連合体に関して以下の報告があった。

(1)地域研究コンソーシアム(JCAS)に加盟し、幹事組織として運営を担っている。JCAS では加盟組織の会費負担はない。JAMS からは金子芳樹会長が JCAS の理事として参加している。JCAS は、年次集会（総会と一般公開シンポジウム）、地域研究コンソーシアム賞（JCAS 賞）の顕彰、オンラインジャーナル『地域研究』の刊行を行っている。今年度の年次集会は 2019 年 11 月 2 日に国立民族学博物館で行われた。JCAS の活動は、主要なものは事務局からも案内するが、会員には JCAS ホームページまたは

JCAS メールマガジンを参照していただきたい。

(2)地域研究学会連絡協議会(JCASA)に参加している。JCASA は会費制で、加盟学会が支払う会費は 2 年間で 5000 円。主な活動は総会のみで、今年度は 2019 年 12 月 14 日に東京外国語大学本郷サテライトで行われた。

ウェブサイト

山本博之会員より今年度の活動について以下の報告がなされた。

『The Daily NNA マレーシア版』に毎月掲載されているコラム記事「知識探訪」の記事再録をはじめ、JAMS ウェブサイトを通じて学会の活動を広報している。

一部項目（研究大会、会誌、ディスカッションペーパー）については英語ページも作成している。今後も英語ページおよび英語コンテンツを増やしていきたい。

スマートフォンへの対応を含めた JAMS ウェブサイトのリニューアルを検討している。

会計

光成歩委員より配布資料をもとに 2018 年度の会計中間報告が行われた。

会員情報

光成委員より以下の報告がなされた。

(1)会員数

2019 年 12 月 21 日の時点で会員数は 208 名。前年度の会員総会時から（7 名入会、3 名退会で）4 名増。

(2)権利の停止

34 名の会員が権利の停止の対象者となっている。

(3)メーリングリスト

会員メーリングリストを含む JAMS 関連のメーリングリストを管理している。

3. 学会誌編集委員会

祖田亮次編集長より以下の5件の報告がなされた。

(1) 会誌第7号

2019年3月30日付けで発行した。

(2) 会誌第8・9号

会誌第8・9号は合併号として、2020年3月に発行予定。内容は、2018年度 JAMS 研究大会シンポジウムをもとにした特集（主旨説明1件、論文3件）、書評論文、書評、研究動向、知識探訪24件。

4. 地区担当

関東地区

福島康博委員より、関東地区研究会について、昨年度の総会以降、研究会を4回実施したこと、今年度内に1回実施する予定であることが報告された。

関西地区

山本委員より、以下の3件の報告がなされた。

(1) 奇数月の最終日曜日の午後1時～5時に京都大学稲盛財団記念館2階セミナー室で地区例会を行っている。

(2) 発表者および企画を募集した。会員・非会員の別なく発表・参加が可能。研究発表、パネル企画、研究動向紹介、書評・読書会、上映会など、形式の制限はなく、マレーシアに関わるものであれば内容の制限はない。

(3) 昨年度の総会以降、研究会を4回実施した。

5. 研究大会

坪井祐司委員より2019年度研究大会の開催について以下の件の報告がなされた。

(1) 今年度の研究大会を企画し、2019年12月21日（土）に立教大学池袋キャンパスで実施し

た。

(2) 大会1日目にセッション「多民族社会マレーシアにおける移民と社会統合——東南アジア近隣諸国からの移民・就労者の事例に即して」と、シンポジウム『新しいマレーシア』を展望する——教育・開発・福祉』を企画・実施した。

(3) 大会2日目を個別研究報告とポスター・セッションとし、発表者を募集した。個別研究報告で2件を採択した。ポスター・セッションは応募がなかった。

(4) 大会1日目に個別研究報告も実施することとし、大会日程を1日のみとした。

6. 連携研究会

篠崎運営委員長より、連携研究会の活動について以下のように報告があった。

(1) 各研究会の活動

- ・クアラルンプール地区研究会
- ・マレーシア映画文化研究会
- ・パラダイム研究会

特に報告する活動は行っていない。

- ・「ジャウィ文献と社会」研究会

坪井祐司委員より、昨年度の総会以降、ディスカッションペーパーを刊行し、研究会を行ったことが報告された。

(2) 連携研究会は JAMS 会員が中心になって組織する研究活動であり、JAMS に連携研究会として登録することで JAMS の一翼として活動することが認められる。連携研究会は運営方針・予算に関して JAMS から指示・支援を受けず、年間の活動内容を JAMS に報告する。連携研究会の活動を公開で行う場合、JAMS 会員 ML で告知することによって JAMS の活動として位置づけられる。研究会等の活動を行っている会員のみなさまには、連携研究会の枠組みを活用して JAMS の活動の活性化に力を貸していただきたい。

7. 社会連携

篠崎運営委員長より、以下の2件について報告がなされた。

(1)マレーシアで発行されている邦字紙『NNAマレーシア』に本学会の会員がコラム「知識探訪」を毎月掲載している。執筆者は会員の自薦による。積極的な応募を期待する。

(2)マレーシア国立博物館日本語ボランティアガイド・グループより JAMS に対して、同グループを対象としたマレーシア事情研修の講師を紹介するよう依頼があり、会員メーリングリストにて募集を行った。積極的な応募を期待する。

審議事項

1. 2018 年度の決算について

光成委員より配布資料に基づいて 2018 年度の会計報告がなされ、宮崎恒二監査より監査結果が報告され（光成委員代読）、いずれも承認された。

2. 理事選挙について

鈴木陽一選挙管理委員長より、理事選挙の報告がなされ（篠崎運営委員長代読）、承認された。

2019年8月16日付で選挙管理委員会より選挙権を持つ会員に理事選挙の通知を発送した。投票を9月25日に締切り、9月27日に開票した。以下の会員が2020-2021年度理事予定者に選出され、12月15日に上智大学四谷キャンパスで理事予定者会合を開催した。

穴沢眞
久志本裕子
杉本均
鈴木絢女
永田淳嗣

3. 次期（2020-2021 年度）の運営体制について

永田次期理事より、次期運営体制が以下のよう
に紹介され、承認された。

- ・会長 穴沢眞
- ・理事
総務 永田淳嗣
大会 久志本裕子
地区 杉本均
編集 鈴木絢女
- ・事務局 永田淳嗣

4. 2020 年度の予算案について

永田次期理事より、配布資料にもとづき 2020
年度予算案が提示され、承認された。

5. 2020 年度の研究大会について

久志本次期理事より、2020 年度の研究大会
について、会場、時期および形態について決定
を理事に一任すること、またその結果について
2020 年度 4 月以降に会員メーリングリストで
告知することが提案され、承認された。

以上